

長野日報 11月15日 掲載

駒ヶ根工業高校コマレンジャー同好会と
高遠高校情報ビジネスコース3年の生徒が
中学生にスマートフォン正しい利用を指
導する「高校生スマホキャラバン」が14日、
伊那市の東部中学校で開かれた。ヒーロー
ショーや発表などを通じて、スマホに潜む
危険性を解説し、東部中の全校生徒約84
0人が目と耳を傾けた。



コマレンジャー同好会の高校生から指
導を受け、スマホアプリでウイルス感
染を疑似体験した東部中の代表生徒

スマホキャラバンは昨年3月、コマレンジ
ャー同好会が駒ヶ根市赤穂中学校PTAの
依頼で「スマホ講座」を開講したのを契機に
継続。県内に同様の活動を広げようと他校に
も参加を募り、現在は6校が賛同している。

同好会の7人はウイルスや出会い系トラ
ブル、なりすましなどをシ

ナリオに織り交ぜながらシ
ョーを展開。自ら開発した
ウイルス感染を疑似体験す
るアプリも披露し、東部中
の生徒代表が体験する場面
もあった。

スマホ正しく使おう！

伊那市 駒工、高遠高生が解説
東部中

スマートフォンの適正利
用を議論する「高校生IC
Tカンファレンス」の長野
大会で県代表に選ばれた高
遠高の3人は、チェーンメ
ールの注意点のほか、スマ
ホのメリットやデメリット
を大会の映像を交えながら
話した。

熱心に聞いていた同中2
年の女子生徒は「悪いサイトに引っ掛かっ
た場合の対処法が分かりやすかった。普段
使っていないアプリやサイトが悪いのか
判断が付きにくい。むやみにインストール
しないよう注意したい」と話した。

(勝村誠之)